

台湾の電腦街・ゲーム関連ショップ潜入記

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

2013年6月に開催されたIT展示会「COMPUTEX Taipei」の視察に合わせて訪れた折に台北市内の電腦街を巡った。訪れた先は、台湾最大の電腦街として知られる光華商城とその周辺エリア、台湾の原宿とも称される西門町、台北駅の地下に広がる台北地下街の3カ所。いずれの場所もいかにも“アジア”な勢いを感じさせたが、一目見て明らかな海賊版やコピー商品は意外にも少なく、ゲームやアニメ関連グッズを中心に日本の商品をそのまま扱う店を多く見かけた。

1. 台湾の電腦街に潜入

台北の秋葉原とも言えるのが光華商城、光華數位新天地、八徳路電腦街が集まるエリアで、すぐそばには台湾トップの理工系大学として有名な台北科技大学がある。

【光華商城】



大通り沿いにずらりとデジモノ系の店が並ぶ。路地裏や地下にもありとあらゆるモノを売る店がぎっしり

光華商城は 10 年ほど前までこのエリアにあった商業ビルの名称だが、地元の人たちは現在もこのあたり周辺を光華商城と呼んでいる。外に大きくメーカーの看板が掲げてあっても直営店ではなく、PC 本体から各種パーツ、周辺機器、OA サプライ、スマートフォンとあらゆるデジモノを売っている。中古品の買い取り・販売や修理店も集まっており、地下には秋葉原のガード下のような電子部品や線材といったパーツショップが集まる雑居フロアが広がっており、コピー商品と見受けられるものもちらほら。表示されている価格を見る限り、一概に日本より安いとは言えないようだ。Web サイトには買い物に役立つ価格比較やコミュニティがある。<http://www.arclink.com.tw/>

【光華数位新天地】

光華商城ビルに代わって 2008 年に新しく建てられた 6 階建ての電腦ビルで、1 階は大手メーカー製のノート PC やタブレットを取り扱う店が並ぶ。2 階から上は、自作 PC 向けのパーツ類、キーボードやプリンターといった周辺機器を売る個人経営の小さな店が入居しており値段交渉も OK。PlayStation や DS といった携帯型ゲームの販売店のほか、アニメグッズの店もいくつかあった。OA サプライを扱う店の店員は、入居審査があると話していたが、中国大陸によくある電腦城のように怪しいカオスな空間・・・というよりは、比較的きちんとした店が多く、明るく清潔な雰囲気だ。



パーツの価格表が貼られた様子は秋葉原の裏通りのよう。土日にはずいぶん混雑するという



スマートフォンやタブレットのアクセサリの販売店のほか、スキンシールを貼る店も多い

PC パーツ以外で特に目立ったのは、スマートフォンやタブレットのカバー等のアクセサリを扱う店で、店員によると 500～1000 台湾ドル(約 1700～3500 円)のものがよく売れるという。またあちこちで見かけた「全包膜」という看板を出す店では、液晶画面の保護シールだけでなく、端末の全面に貼るスキンシールをその場で貼ってくれる。価格はシールのデザインや端末によって 1000 台湾ドル前後(約 3500 円)で、スマートフォンだけでなくタブレットやノート PC の背面に貼るのも人気だそうだ。

2. 台湾の原宿？なんでもありの西門町

西門町は台北駅から一駅の繁華街で、「ファッションの流行発信基地」などと呼ばれることも多い若者の街だ。サブカルチャーやオタク文化の発信地としても知られ、夕方になれば屋台も並び、夜遅くまで人通りが絶えない。

西門町にはモバイル通信キャリアが比較的大きめの店を構えているほか、SONY の XPERIA 旗艦店や Apple 製品の専売店があり、いずれも夕方から夜にかけてたくさんの人が来店していた。



左から Taiwan Mobile(台湾大哥大)、Far Eastone(遠伝電信)、中華電信の店舗

キャリアのショップはどこも iPhone5 を大々的に推しており、店頭には本体 0 円～のポスターも。Apple 製品の専売店では、中古端末の買い取り及び下取りをしており、買い

CLARA ONLINE Taiwan Internet Report 2013.7.3

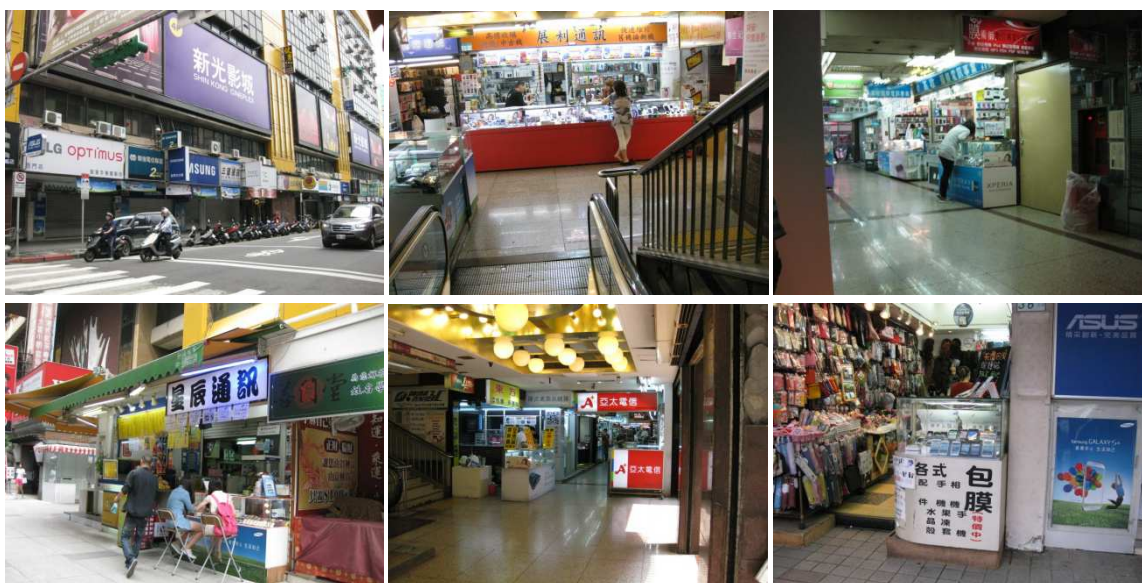
取りの場合、iPad1 が 1000 台湾ドル、iPad 2 及び 3 は 1500 台湾ドル、下取りの場合 iPad mini が 3310 台湾ドルから購入できるようだ。



XPERIA ショップの営業時間はなんと 13-22 時

Apple 専売店の店頭には「中古買取」の看板

また西門町の電腦ビルとして知られる獅子林は、中古の携帯電話やスマートフォンを扱う店がいくつもある。ビルの古さや照明のうす暗さに加え、光華商城にはない積極的な呼びこみが近寄りたがいのか、若者の足は向かないようで人足はまばらだった。



大陸の電腦ビルを彷彿とさせる獅子林。中古販売店や修理店が集まるアングラワールド

もう 1 つ西門町で有名な商業ビルが萬年商業大樓で、日本の雑誌や漫画、アニメグッズなどを扱う店が集まるフロアがある。10 階にはインターネットカフェもあり、利用料金は 5 時間で 125 台湾ドル(約 430 円)、8 時間で 150 台湾ドル(約 520 円)、12 時間で 220 台湾ドル(約 770 円)となっている。PC ゲームができるのはもちろん、マンガや雑誌、最新映画の DVD も置かれており、日本のそれに近い雰囲気だ。



低層階はアパレルや携帯アクセサリのお店が並ぶ 近くにはメイドカフェも

西門町にはゲームセンターが数カ所あり、路面店はクレーンゲーム、ビル内の大型店
はアーケードゲームが中心に置いてあった。大型店には日本からそのまま持ち込まれた
躯体が置かれており、画面や音声も日本語のままというものも多い。



音楽ゲームが人気らしく、みんな日本語の歌でプレイを楽しんでいた。女の子もかなり多い

アーケードゲームで遊ぶには、事前にカウンターや両替機で台湾ドルを専用コインに
交換する必要がある。小さなクレーンゲームなどは、台湾ドルの硬貨がそのまま使える
ようになっていた。日本ではいささか物騒なイメージが付きまとうゲームセンターだが、
台湾のゲームセンターは夜になっても小さな子供を連れた家族や中高生とみられる女
の子だけのグループが遊んでおり、店内も明るく安全な雰囲気だった。

西門町には日本のアニメや漫画を扱う店が集まっており、MRT 西門駅の出入り口がある中華路沿いにある「アニメイト(台湾名は安利美特)」の台湾旗艦店や「KT 動漫精品」が有名だ。日本から輸入した漫画単行本やアニメ・声優雑誌などが並んでおり、周囲にはコスプレの専門店なども集まっている。



3. コンシューマーゲーム事情を知るなら、台北地下街

台北地下街は、台北駅北側を東西に走る地下街で長さは約1キロ。台北駅に接続している東側から順にアパレルエリア、雑貨エリア、電子製品エリア、レストランエリアに分かれている。この電子製品エリアには、PlayStation や DS などのゲームを扱う店を中心にトレーディングカード、フィギュア、日本のアニメ雑誌・漫画が集まる。他では見かけない国際電話カードや中古のフィーチャーフォンを扱う店も並んでいた。



中古 PSP ソフトは 4 つ 1000 台湾ドルで投げ売り状態…

ゲーム販売店はどの店でも PlayStation、Xbox360、Wii、PSP、DS と一通り取り扱っており、繁体字版の正規ソフトが豊富に揃っている印象を受けた。なかには並行輸入品と大きく書いてあるゲーム機本体を売る店も。ほとんどの店が中古の本体やソフトを扱っており、中古ソフトの高価買取をうたう店も目立った。海賊版は店頭での販売がインタ

一ネット上に移っただけで一掃されてはいないが、中古ソフトの買取・販売が成り立つレベルまで市場はクリーンになりつつあるということだろうか。

このほか目立ったのはトレーディングカードを扱う店で、中高生くらいの男の子が店頭のテーブルで遊ぶ姿も。トレーディングカードのポスターは、どの店でも日本のものがそのまま貼られていたのが印象的だった。



欲しいカードの番号を指定して購入する。カードの買い取りもやっていた



昼過ぎにまだ開いていなかった

フィギュアを扱う店も多い

ゲームセンターには初音ミク

胡散臭さでは西門町の獅子林に勝るとも劣らない中古携帯電話ショップは、地下街にいくつか散在している。ある店のおばさんの話では、安いフィーチャーフォンは台湾に出稼ぎに来る東南アジア人や留学生がよく購入するという。国際電話カードも同様で、出稼ぎ労働者が母国に電話をかけるために購入していくのだという。中古の携帯電話は1000~3000台湾ドル(約3500~1万円)で揃っている。



4. ゲームの広告宣伝は控えめ？

ゲームショップの集まる台北地下街やインターネットカフェを除けば、ゲーム関連では RMT 西門駅構内でオンラインゲームの大型広告を見かけただけで、街中でポスターなどを見かけることはなかった。RMT の車内でもスマートフォンでゲームをやっている人は少ないように感じられ、多くの人は動画を見たり、LINE やメールをしているようだった。



モバイルゲーム「重裝武士」、オンライン MMORPG「仙俠世界」の広告

一方でコンビニや書店には、スマートフォンアプリやオンラインゲームに関する雑誌が何種類も並んでいた。どれも日本円で 100~300 円程度と手ごろな値段で、台湾のゲームファンがオフラインで情報を得る手段の一つとして機能しているようだった。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2013 年 7 月 3 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776